

2024(令和6)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業  
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

**若年性認知症カフェ**

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。  
参加される当事者とその家族との交流を通し、互いの不安や悩みを共有することで、安心できる居場所と仲間を作る。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2025年1月18日(土) 13時～15時半 定員15～20名

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム ①初詣（普天間神宮） ②交流会（近況報告）

3. 参加者数 6人（内訳：当事者0名、家族5名、専門職1名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

今月は新年1月ということもあり、会スタートは普天間神宮への初詣としました。快晴の中、事務所から歩いて行く方と現地集合の方がおりましたが、集まり次第直ぐに話が盛り上がり、元気な笑顔が多く見られました。参拝の際には作法を教えてくださいの参加者もあり、皆で一緒に新年の祈願を行う事ができました。近況報告では、偶然知り合いの救急搬送に出くわした参加者の話から、「近親者が身近に居ない者の緊急連絡先」の話題となり、伴侶が没したら1人という参加者からも「自分に何かあった時どうなるのか不安」との声があがりました。ある参加者からは「独り者同士が定期的集まる事で、何かあった時の連絡先や仲間作りになるのでは？」との提案もあり、「一人の方の老後の支援」について情報を集め、次回のカフェで提供しようという事にもなりました。

5. 所感

新年初のカフェで皆と一緒に参拝出来たことは、またこの一年共に支え合いながら、それぞれが日々介護や仕事・生活に追われながらも、充実した一年が過ごせるような、そんな前向きな気持ちになれるイベントになったように感じます。また近況報告に上がった話題の内容にも繋がりますが、家族自身もこれからの自分の生活や生き方をきちんと考える時間を持つということは、非常に重要で本当に必要な事だと思いました。今回のスイーツは、生いも餅でした。



★次回予定：2025年2月15日(土) 以上